

④新規用途開拓による地域農産物の需要拡大、ブランド向上

農業者が主体となる中山間地域における農園サービス・パンプキン等商品開発事業

農地の集約が困難な中山間地域における、農業指導サービスと農産加工品開発を起点とした新たな複合的農業ビジネスの展開。

連携体

農林漁業者

くわの実ファーム（農業）

優れた農業技術と新規就業経験に基づく初心者向け栽培ノウハウを活用し、主体的に農園の管理運営・栽培指導等の農業サービスを行う。また、世界の多品種パンプキン等の生産・展示・イベントを行い、事業の集客に貢献する。

中小企業者

(有)ホウトク(食料品製造業)

既存の販売チャネル・人脈を活用し農園利用者の募集を行う。また、利用者に対し買取サービスやバーベキュー施設提供等も行い新規性を明確にする。農業者が栽培する素材を原料に農産加工技術を活かし、高品質な素材の栄養素を活かした焼き菓子等の開発販売を行う。

連携参加者

(株)JTBベネフィット、(株)マイファーム(その他の生活関連サービス業)、
国立ファーム(有)、(農)めぐりの里、太陽と雨(以上、農業)

連携参加者各位はその技術力、集客力等を活かし商品開発、イベント等の協力を行う。

サポート機関等

群馬県産業支援機構、地域活性化支援事務局

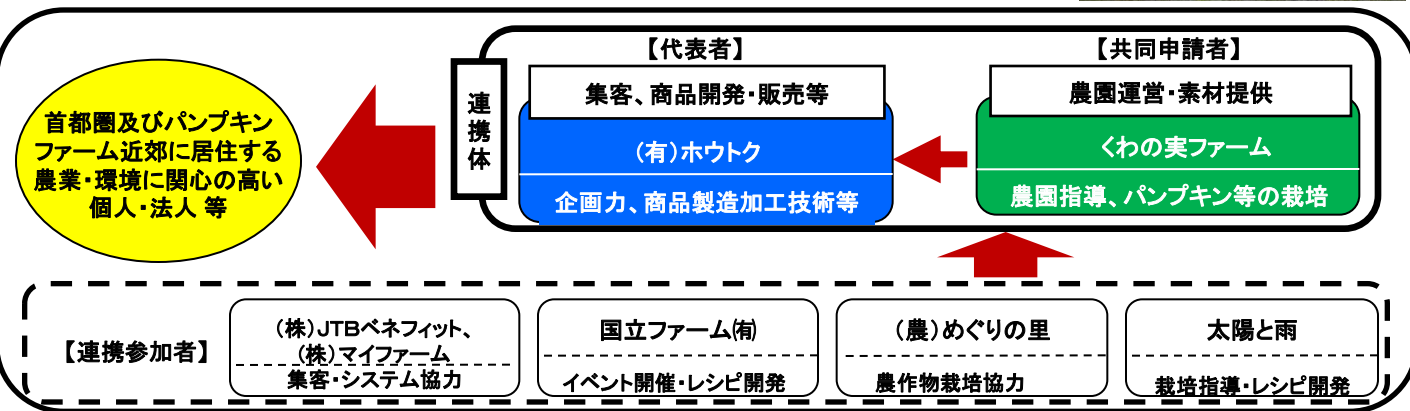
連携の経緯

くわの実ファームは集客や販売加工などのノウハウを持つ(有)ホウトクと連携し、(有)ホウトクは栽培指導能力と多品目栽培の技術力を持ったくわの実ファームと連携する事で、オーナー制農園と農産加工を主事業とした農業テーマパークの運営を行う。経営基盤を強化する必要が急務な中山間地域の農業者、農産加工業者がお互いの強みを持ち寄り連携する事となった。



連携に当たっての課題や工夫等

中小企業者と農業者は連携し、新農業・農産加工ビジネスモデルを構築する為サービスと商品開発を進める。農業者は新しい取組として、優れた農業技術を背景にオーナー制農園の管理運営等サービスを提供する。中小企業者は強みである農産加工技術を用い、農業者が生産する高品質パンプキン等の素材栄養素をそのまま活かした焼き菓子等の開発等を行う。またSNS等を利用し、コミュニティの形成・運営を行う事で新たな販売方法等を連携して開発する。



連携による効果

農林漁業者

5年で200万円の売上高増加、農業サービス商品の展開、収益の向上

既存の農業生産物の販売に加え農業サービスを商品化する事による売上・収益の向上が図れる。

中小企業者

5年で4,500万円の売上高増加、ブランディング能力の向上、収益の向上

消費者への直接販売によって商品開発力・販売力が構築されマーケティング・ブランディング力の強化、及び収益が向上する。

代表企業等の連絡先

企業等名：有限会社ホウトク
TEL：027-388-5117
E-mail：takan@ceres.ocn.ne.jp

所在地：群馬県高崎市吉井町岩崎329
FAX：027-388-5144
ホームページ：http://www.sfh.co.jp